

環境社会学Ⅰ

科目ナンバリング SOC-239
選択 2単位

永井 リサ

1. 授業の概要(ねらい)

この「環境経済学Ⅰ」では、多様な環境問題、とくに「パリ協定」と「SDGs(持続可能な開発目標)」に焦点を当てながら、具体的な事例を取り上げて分かりやすく解説します。「SSGs」の考え方を学び、「地球に対して、今自分ができること」を考えていきたいと思います。

2. 授業の到達目標

環境問題は自分たちの未来に直結する問題であることを、様々な事例を通じて理解する。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(20%)、レポートの提出(30%)、最終期末試験(50%)として、総合的に評価します。講義中に参考文献や準備学習の課題等についても指示します。また、出席を重視します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

栗山浩一/馬奈木俊介 環境経済学をつかむ 有斐閣

5. 準備学習の内容

講義中に指示する参考文献、配布するプリント等をよく読むこと。

6. その他履修上の注意事項

出席率や授業中での参加度を重視します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 環境経済学とは何か①
- 【第3回】 環境経済学とは何か②
- 【第4回】 「パリ協定」①
- 【第5回】 「パリ協定」②
- 【第6回】 「パリ協定」③
- 【第7回】 「パリ協定」④
- 【第8回】 中間のまとめ
- 【第9回】 「SDGs(持続可能な開発目標)」について①
- 【第10回】 「SDGs(持続可能な開発目標)」について②
- 【第11回】 「SDGs(持続可能な開発目標)」について③
- 【第12回】 「SDGs(持続可能な開発目標)」について④
- 【第13回】 自分にできる「SDGs(持続可能な開発目標)」とは何だろう①
- 【第14回】 自分にできる「SDGs(持続可能な開発目標)」とは何だろう②
- 【第15回】 総括・まとめ